

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 9 月 24 日 (2021.9.24)

【公開番号】特開 2021-101958 (P2021-101958A)
 【公開日】令和 3 年 7 月 15 日 (2021.7.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2021-031
 【出願番号】特願 2019-235035 (P2019-235035)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 8 G

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 11 日 (2021.8.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤を備え、該遊技領域に設けられた始動口に遊技球が入球することに基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果に基づいて所定の利益を付与する遊技機において、

前記図柄の変動表示の結果として所定の当り図柄が導出された場合に、当り遊技を実行する当り遊技実行手段と、

前記当り遊技の終了に基づいて、前記図柄が変動表示する時間が短縮される第 1 の時短状態を発生させる第 1 の時短状態発生手段と、

前記当り遊技の終了とは異なる特定条件が成立することに基づいて、前記図柄が変動表示する時間が短縮される第 2 の時短状態を発生させる第 2 の時短状態発生手段と、

少なくとも前記第 2 の時短状態が発生するときに発光可能な特定発光部と、

当該遊技機の電源が投入される際に、遊技の進行を不能にしつつ前記特定発光部を強制的に発光させる特定期間を発生可能な特定期間発生手段と、を備える

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

しかしながら、上記した従来の遊技機と同様の態様では、新たな仕様の遊技機における不具合を見落とすことがあり、遊技機の信頼性が低下してしまう虞があった。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記した目的を達成するために、請求項 1 に係る発明においては、

遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤を備え、該遊技領域に設けられた始動口に遊技球が入球することに基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果に基づいて所定の利益を付与する遊技機において、

前記図柄の変動表示の結果として所定の当り図柄が導出された場合に、当り遊技を実行する当り遊技実行手段と、

前記当り遊技の終了に基づいて、前記図柄が変動表示する時間が短縮される第 1 の時短状態を発生させる第 1 の時短状態発生手段と、

前記当り遊技の終了とは異なる特定条件が成立することに基づいて、前記図柄が変動表示する時間が短縮される第 2 の時短状態を発生させる第 2 の時短状態発生手段（例えば、段落 2 4 1 6 の「時短図柄の停止を契機に作動する時短制御」や、段落 2 4 2 2 の「天井回数を契機に作動する時短制御」に相当）と、

少なくとも前記第 2 の時短状態が発生するときに発光可能な特定発光部（例えば、段落 2 4 2 7、2 4 2 8 の「時短状態発光手段 1 7 1 0」に相当）と、

当該遊技機の電源が投入される際に、遊技の進行を不能にしつつ前記特定発光部を強制的に発光させる特定期間を発生可能な特定期間発生手段（例えば、段落 2 4 2 9、2 4 3 0、図 2 4 9（B）の「 $t_x \sim t_5$ 」の期間が相当）と、を備える

ことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】